

政策名	1グローバルロジスティクスの港		責任者	港営部 港営課長	連携担当課 (総務部)行政管理課 (港営部)海務課
基本施策名	01国際・国内海上輸送機能の強化				
個別施策名	05港湾のコスト・サービス水準を向上する				
事務事業名	02港湾手続の統一化・簡素化		連絡先	052-654-7871	

1 PLAN(目的・概要)

目的	名古屋港管理組合の管理する港湾施設の利用者の手続をやすくし、港湾手続の利便性の向上を図ります。	事業期間	平成16年度～継続
概要	港湾管理者が管理する港湾施設の使用手続に係る申請様式を、国が定める統一様式に変更するとともに、国の次世代シングルウィンドウを導入し、港湾手続の利便性を向上させます。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・府省共通ポータルによる支障のない運用を実施しました。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
手続の統一化・簡素化の状況	単位	目標	-	1	1	2	2	2	24年度までに実施した手続の統一化・簡素化のための施策の数を合計します。
	式	実績	-	1	2	2			
	単位	目標							
		実績							
事業費	千円	0	0	0	0	0			
人員	正規職員	人	0.30	0.30	0.30	0.10	0.10		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円	2,606	2,631	2,544	848	877			
事業費・人件費の合計	千円	2,606	2,631	2,544	848	877			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
入出港手続のEDIによる申請割合	単位	目標	-	60.0	61.0	68.0	79.0	79.0	申請全体に対する入出港手続に係るEDI申請の割合
	%	実績	57.8	60.1	67.4	78.3			
	達成率(%)	-	100.2	110.5	115.1				
係留施設使用手続のEDIによる申請割合	単位	目標	-	45.0	46.0	47.0	47.0	48.0	申請全体に対する係留施設使用手続に係るEDI申請の割合
	%	実績	42.7	41.3	37.2	40.7			
	達成率(%)	-	91.8	80.9	86.6				
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無							
	目的・水準の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	<input checked="" type="radio"/> 有・無							
	成果の達成度	有・ <input checked="" type="radio"/> 無							
効率性	内容の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無							
	実施主体の妥当性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無							
	受益者負担の適正性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無							
	経済性	有・ <input checked="" type="radio"/> 無							

4 ACTION(取組)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	ほぼ目標値に達してきているため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			
更なる利用率向上に向け、働きかけを行います。			